

1 阿久和北部地区 地域福祉保健計画

1 地区の概況

- ・ 瀬谷区の南東部にある阿久和エリアのうち、北側の部分が阿久和北部地区です。
- ・ 家族構成では、区平均と比べて単身世帯の比率が少なく、夫婦とこどもの世帯が多くなっています。
- ・ 一戸建て住宅の多い地域で、マンションにはひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が多く住んでいます。10年以上居住されている方が、区平均よりやや高くなっています。11自治会で構成されています。
- ・ 近くに長屋門公園もあり、住民が参加しやすいイベントも多く行われています。



* 阿久和北部地区には阿久和西三丁目の一部も含まれます。

2 第1期で取り組んだ主な活動や事業

① 地区内の公園で体操を実施

体操は実現しませんでした。形を変えて“あるべき姿”をめざしました。

<取組により期待されていたこと＝“あるべき姿”>

健康づくり、普段のつながり作り、行けばあの人に会えるという関係づくり、情報連絡の場づくり
→ 見守りネットワーク実行委員会を平成20年度に立ち上げ、全世帯アンケートや、住民への啓発のため「見守り合いのつどい」を実施しました。

② 定年後の男性を地域の活動に取り込む

おやじの広場として実現しました。

③ 地区内に子どもからお年寄りまでの交流の場を作る

サロン「喫茶だんらん」として実現しました。

3 第2期計画に向けての課題

見守り活動

- ・ 見守りネットワーク実行委員会の活動をとおして、高齢者や単身者、障害者、こどもなどの見守り活動の必要性和重要性が認識されました。
- ・ 見守り体制づくりは自治会単位で進めることにしましたが、自治会ごと取組の有無があったり、活動の頻度が異なることがわかりました。

交流の場

- ・ 第1期計画では公園での体操を計画していましたが、場所や担い手などの事情もあり、見守りネットワークづくりへと発展的に移行しました。しかし、見守りや交流の中心となる“場”は必要です。

おやじの広場



さとまつり

4 推進母体

阿久和北部見守りネットワーク実行委員会

【構成メンバー：各自治会長、民生委員、各種団体代表、ボランティアグループ代表、障害者団体代表、小中学校、保育園、阿久和北部内福祉施設、地区支援チーム】

5 第2期計画の取組内容

＜阿久和北部見守りネットワーク実行委員会＞
 ～向う三軒両隣、誰もが見守りあえ、助け合える地域づくりをめざします～

1 見守りネットワークの体制づくり

2 新しい形のコミュニティ拠点づくり

目標

全11自治会で
より良い見守りネットワークの
体制づくりをめざします

見守り活動の拠点となる
場所づくりをめざします

取組の内容

- ★ 各自治会の状況に合った見守り体制を検討
- ★ 既に見守り体制ができている自治会
⇒ “より良い体制”
見守り体制がない自治会
⇒ “体制づくり”
をめざす。
- ★ 年に1回「見守り合いのつどい」を開催し、各自治会における体制づくりの状況を情報交換

- ★ 地域の状況に合った場所づくりを検討
- ★ まずは1か所。
将来は複数の場所が作れれば…



取組による期待

- ★ 見守りネットワークによる安心づくり
- ★ 災害時にも活用

- ★ ふだんのつながりづくり
- ★ 行けばあの人に会えるという関係づくり
- ★ 情報連絡の場づくり